



病児保育協議会

news

一般社団法人 全国病児保育協議会ホームページ <http://www.byoujihouiku.net/>

第90号

2017年(平成29年)12月1日

〔発行人〕 会長 大川 洋二  
(大川こども&内科クリニック)〔発行〕一般社団法人 全国病児保育協議会事務局  
〒160-8306  
東京都新宿区西新宿5-25-11-2F 株日本小児医事出版社内  
FAX.03-5388-5193

## 感性を大切に

一般社団法人 全国病児保育協議会 副会長 佐藤 里美

今年は対外的な活動にも参加する機会をいただき見聞を広げることができました。6月に出席した健やか親子21は「早寝早起き朝ごはん」や「愛の鞭ゼロ作戦」などで知られ、すべての子どもが健やかに育つ社会を実現することを目的としています。参加企業、団体が多方面から子育てをサポートし、今年は離乳食を通じた子育て支援（健康寿命をのばそうアワード、厚生労働大臣優秀賞受賞）や、事故予防として子ども誤飲防止プロジェクトの取り組みなどが紹介されました。

また9月には子ども子育て会議に会長随行で参加いたしました。内閣府からの報告の中で、教育・保育施設等における平成28年度の事故報告があり、治療に30日以上を要する負傷から死亡事故に至るまで総数875件（内死亡13件）が報告されました。ハインリッヒの法則によると重大な事故が1つ起きた場合、それまでの過程でヒヤリハットが300存在すると言われています。また乳幼児突然死症候群の発生が預かり初期に目立ち、乳幼児のストレスとの関係が指摘されていることより、病児保育室においても十分な注意が必要です。幸い病児保育施設では重大な事故は起きていませんが、子どもの生活の中には大変な危険が潜んでいることを肝に銘じ、命に関わるような事故や病状の急変に対応できるリスクマネジメントは重要です。

「ただいま」と迎えに来る母親に両腕を広げて思いつきの笑顔で走っていく子ども、母親の顔を見た途端大粒の涙を流し抱き着く子ども、そんな無邪気な子ど

もたちの姿を見ると、「そうだよね、やっぱりお母さん、お父さんが一番だよね」と思いつつ、同時に今日も一日子どもたちを無事に保護者のもとに帰せたと安堵する時間もあります。子どもの育ちは100人100様、病児保育室では100通りの保育看護があります。私が病児保育に関わるようになった15年前に比べると子どものアセスメント、保育看護目標、エビデンスを持った保育看護計画等々、保育看護はだいぶ系統的になってきました。しかしアセスメントやエビデンスではどうしようもない迷いが生じことがあります。「感性を大切に」私が大切にしている言葉です。感性、これは相手のちょっととした気持ちの動き、心の変化や表情などを瞬間にキャッチするアンテナを言います。感性は自然に身に着くものではなく、トレーニングが必要と言われます。忙しさに追われ気づきをなくすと感性が育ちません。気づきを失いかけたら、何かに迷いが生じたら一度立ち止まり、基本に帰ることが必要です。一日中泣いている子どもに「ママがいいよね。泣いてもいいよ。」と、そっと抱きしめます。横たわっている子どもの額にそっと手を当て、「ゆっくり眠れると良いね。」と願います。何もできなかつた頃の自分に戻り「そばにいるよ。」と、ただ傍に寄り添うだけでいいのです。もし日々の保育に迷ったら自分の保育観や小児観を見つめ直してみませんか。初心に帰った時、きっとその先がみえてくることでしょう。



## 病児保育協議会の冊子などを電子書籍化しています！

全国病児保育協議会ホームページの会員様専用ページに掲載されている感染症ガイドラインやニュースの電子書籍化をはじめました。今までよりも更に見やすくなっています。ぜひ、様々な場でご活用くださいますようよろしくお願ひいたします。

全国病児保育協議会

# 平成29年度関西地区合同研修会開催報告

平成29年度大阪支部総会と関西地区合同研修会を9月9日午後にA P大阪淀屋橋で開催した。総会は平成28年度事業と会計の報告・監査と平成29・30年度事業予定と予算計画の報告と審議をし、続いて7月16日・17日に大阪市中央公会堂とA P大阪淀屋橋で開催した第27回全国病児保育協議会研究大会inおおさかの開催報告と総括を行った。

関西地区合同研修会は14時半から開催し、愛仁会高槻病院・しんあい病院谷内昇一郎小児科部長から、「最近の小児食物アレルギー治療；誤食への対応を中心に」をテーマに講演をして戴いた。食物アレルギーガイドライン2016の紹介、食物アレルギーに対する考え方と治療の変遷、食物負荷試験と減感作療法の実際、ステロイド軟膏の使い方、アナフィラキシー症状出現時の対処、誤食を防ぐ方法の順で講義された。参加人数は84名でアンケート回収は70（大阪60、兵庫8、京都1、奈良1；保育士47、看護師15、医師6、管理栄養士1、園長1）だった。「病児保育を利用する方には、いろ



んな病院で受診されるので、アレルギーに対しての指示も医師によって様々で、対応に迷うこともあるので、勉強になった」、「最新の小児食物アレルギーの話が聞いてよかったです」、「初めて聞く話が多く驚いた」、「ステロイドについて、使用がこわいものだと思っていたが、使用して良いと知り驚いた」、「早期、または母体でも摂取していく考えには驚いた」、「アナフィラキシーが発生したら、急に立たない、頭を上げず横にしておく」、「体調の悪い時は除去するなど、自分達がしている方法でよいと知ってよかったです」、「誤食を防ぐ為に、みんなが認識すること、知識を持つことが大事」、「エピペンの常備も、考慮していないといけないと思った」「食品表示をしなくてもいいものがあることを知らなかつたので、気をつけないといない」、「皮膚を正常に保つことの重要性を知った」などの感想が寄せられた。

大阪支部長 原田 佳明

# 第5回大分県支部研修会ご報告

平成29年9月10日（日）にホルトホール大分で第5回大分県支部研修会を行いました。参加人数37名。プログラムは、1. 社会福祉法人藤本愛育会 大分こども療育センター院長の三ヶ田智弘先生による講演「発



達障害を理解して個々にあわせた保育方法を学ぼう」、2. ワークショップ「嘔吐物の処理方法や予防接種、自施設の紹介などのポスターを作り各施設に掲示して保護者の方に正しい知識の再確認を呼びかける」を



テーマに3種類の中から1つ選び製作、3. 交流会①情報交換（困っている事、わからない事、なんでもOK）②小学生に人気の遊びベスト3（実際に持ち寄って遊ぼう）の3部構成でした。

1. 三ヶ田先生の講演は事前に受け付けた質問への回答を盛り込んだ内容で、パニックの時の対処法やそれぞの障害に合わせた声の掛け方や保育方法などについてとてもわかりやすく解説していただき、聴講する皆さんの笑い声が絶えないみたいへん楽しいものでした。終了後のアンケートでも楽しい講演でわかりやすくもっとお聞きしたかった、最後時間が足りない感じだったのが残念などといった声が寄せられ、大好評でした。

2. ワークショップは進行担当が事前に作った予防接種や嘔吐物の処理方法などの原案に沿って、1人1枚ずつ四つ切サイズの画用紙でポスターを作りました。最初は緊張した雰囲気で始まったものの、実際に作り始めると装飾やレイアウトの仕方など各テーブルで活発に意見交換しながら楽しい雰囲気で進めることができました。

3. 交流会は前回の研修会後のアンケートで新たに開室する施設や新しく働き始めた方などから情報交換がしたいという声が上がっていたことから、わからない事は何でもOKの情報交換と、レクリエーションを兼ねて、入室する小学生に人気の遊びベスト3にトラ



イする時間を持ちました。情報交換は少人数のグループをつくって行いましたが、例年に引けを取らず時間が足りないほど濃い内容となり、人気の遊びの中には知育パズルなど大人も夢中になれるものが多く、活気あふれる雰囲気となりました。

短時間に盛りだくさんの内容で、終了後のアンケートに寄せられた感想を見ても参加者はたくさんの知識や情報をお土産にでき、有意義な研修会であったようです。

これからも各施設と刺激し合いながら、大分県の病児保育が子育て支援の大きな力としてさらに発展していくよう研鑽をつづけます。

支部長 藤本保（大分こども病院 キッズケアルーム）  
報告者 竹中理恵（西の台こどもデイケアルーム 病児保育専門士）

## 平成29年度新潟県病児・病後児保育研修事業の報告

平成29年9月10日、新潟県庁講堂において、表題の研修会が開催された。国により推奨されている研修会であり、全国自治体の中でも3番目の開催となった。実施にあたり、新潟県より全国病児保育協議会が委託をうけ、新潟県支部が主体となり研修委員会の協力を得て開催した。県内から病児保育室・保育所勤務の職員120名が参加し、全1日で8時間の講義形式でおこなった。その内容と感想を述べる。

研修の実施要項は国より示されている。テキストは、協議会も作製に協力した厚労省の「病児・病後児保育における保育士・看護師等のためのハンドブック」（平成27年3月刊）が指定されており、それに従って、研修科目、時間数、内容、目的が規定されている。その内容に沿って、研修委員会を軸に、各々の分野のエキスパートである講師の派遣を依頼した。以下にその内容を列記する。

### 1) 新潟県内の病児保育の現状

県少子化対策担当課長から挨拶と県内の現状について説明を受けた。

### 2) 病児保育総論

大川会長が病児保育のはたす意義について概説された。後半では、子育て世代包括支援センターにふれ、病児保育の将来の課題を提起した。

### 3) 病児の発達心理と遊び

研修委員による講義で、一般の保育と病児保育の違い、異年齢保育、遊びの保証、「保育看護」の概念、そして病気の時に安心感をえることは、成長に良い影響を与えることを示唆し、「自己肯定感」獲得に重要な役割を果たすことを示した。

### 4) 病児の主な症状と対応

研修委員による講義で、看護の視点ばかりでなく、保育を展開している中のアセスメントなど、病児保育特有の考え方を提示した。

### 5) 薬に関する知識

研修委員会・横井先生の講義であった。病児保育で薬を与える基本的な考え方について分かりやすく解説された。

### 6) リスクマネージメント

調査・インシデント管理委員会・荒井先生の講義で、ヒューマンエラーの必然性を認めた上で事故対応に準備する考え方を示された。協議会が開発した事故分析と対策に役立つデータベースMIMSを紹介した。

#### 7) 小児の1次救命処置

この部分は新潟市民病院の救命救急担当の医師に依頼した。実技を交えて参加型の講義を行った。

#### 8) 感染症対策

感染症対策委員会の私が担当した。「感染症セミナー」の総集編という形で講義を構成した。

#### 9) 子どもが病気時の保護者支援

保育園PTの本田先生が講義された。保護者支援も、病児保育室の大切な仕事と強調された。

実施を終えて考えたことを述べる。

当初、協議会を中心にパッケージ化出来ないかと考えたが、むしろ、地元中心に人材を選出して研修会を行う意義は大きい。協議会会員だけでなく、病児保育に関わる様々な方々と広く連携することが可能で、地



域での活動の幅が広がると思われた。これに協議会が支援を行う形で各地での開催が広がることが理想的だと思われた。

病児保育制度は行政との二人三脚の部分がある。研修会の実施で地方自治体との連携も形成することができる。ぜひ、今後とも各地での研修を推し進め、協議会が支援できる体制が構築されることを切望する。

研修委員会・新潟県支部長 佐藤 勇

## メールマガジン はじめます!

公的な情報や協議会の最新情報などをタイムリーに発信します。会員施設の職員さんならどなたでも登録できます。また、会員でない場合も登録大歓迎です。

登録はかんたん!空メールを送るだけ!  
どちらかの方法で登録してくださいね。



### 携帯電話・スマートフォンから ご登録される方

右のQRコードを読み込むと  
登録用メールアドレスが表示されますので、  
空メールを送ってください。



★ご注意★ 携帯電話の場合、字数制限によってメールマガジン全文が表示できないことがあります。



### パソコンからご登録される方

右記のメールアドレスへ  
空メールを送ってください。

メールアドレス  
[merma-in@byoujihoiku.net](mailto:merma-in@byoujihoiku.net)

## ポスターA

報告者／座長：中野 景司（医療法人社団ワッフル ぐんぐん病児保育室）

6つの演題を担当しました。上質な木を贅沢に使用した格調高い雰囲気の会場で、時流に即した素晴らしいご発表を頂きました。

1題目「枚方病児保育室くるみにおける47年間の利用児の推移」。47年間というデータの蓄積は他では真似できない偉業です。創始期からの推移を元に、まだまだニーズは増加しているとの内容で、歴史の重みを感じるご発表でした。

2題目「子どもを取り巻く環境～乳児院併設型病児保育だからできること～」。乳児院は多くの職種が関わっておられ、そこに併設しているメリットを活かし、単なる病児保育の利用だけでなく、保護者の不安への対応や栄養相談なども行っておられるそうです。

3題目「東日本大震災被災地における病児病後児保育室の果たす役割」。震災復興における病児保育はその枠を超えて地域の子育て支援センターの役割を担っているというご発表でした。

4題目「被災地における病児病後児保育室の現状と

今後のあり方」。震災以降減少していた利用者が、平成25年から一気に増加した背景を、社会や家族の形態の変化という側面から考察して下さいました。

5題目「メディア漬けから子どもたちを守るために」。子どもたちのメディア依存という問題に対しノーメディア推進活動を展開しておられます。今回はその活動内容とアンケート結果をご披露頂きました。

6題目「パンフレットによる地域の保育所等への情報提供の試み」。近年病児保育事業への補助金の一環として、地域の保育所等への情報提供に対する予算が設定されました。その制度を利用し、地域の保育所とのコミュニケーションにパンフレットを活用されているとのことでした。

いずれの演題もフロアからの質問・コメントが多く、活発な議論となりました。

また、今回の会頭要望演題は翌日のポスター発表Aでもご発表頂きました。演者との距離が近いポスター発表では現場レベルの突っ込んだ議論が白熱していました。

大阪大会の充実した内容を大会特集号1号では載せきれませんでした。大会当日の総会議事録と監査報告とともにこちらに掲載いたします。一般演題A 1～6にご尽力いただいた皆様には号遅れの掲載となりましたことをお詫び申し上げます。

## 調査研究・インシデント管理委員会からのお知らせ

● ● ● ● ● 平成28年度 ● ● ● ● ●  
全国病児保育協議会加盟施設の実績調査にご協力ください!!

平成28年度全国病児保育協議会加盟施設の実績調査を平成29年12月から行います。実績調査は省庁などへ病児保育の実態を説明するにあたり、とても重要な資料になります。ぜひ、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



詳細は全国病児保育協議会ホームページ

**全国病児保育協議会**

<http://www.byoujihoku.net/>

をご覧ください。



## 一般社団法人全国病児保育協議会 代議員総会議事録

日時：平成 29 年 7 月 16 日 17:30～

場所：大阪市中央公会堂 大会議室

### I. 開会

大川洋二会長より開会宣言がされた。

議長は定款 17 条の定めにより会長とする。

### II. 定足数確認及び議事録署名人指名

議長の指示により、事務局から、社員総 63 数名中、本日 44 名出席、委任状出席 19 名、計 63 名の出席により、本会議が定足数を満たし定款第 19 条の規定により成立している、との報告があった。議事録署名人として、荒井宏治、帆足暁子が指名された。

### III. 会長挨拶

### IV. 審議事項

#### 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告の承認を求める件

##### 1、 研究大会・理事会・常任理事会

###### ① 全国病児保育研究大会

平成 28 年 7 月 17 日・18 日（新潟）

###### ② 理事会

平成 28 年 7 月 16 日

平成 29 年 3 月 20 日

###### ③ 常任理事会

平成 29 年 1 月 9 日

議案書に基づき、大川会長が報告を行った。

##### 2、 各委員会・PT 事業報告

###### ① 研修委員会（帆足暁子委員長）

###### ② 資格認定委員会（永野和子委員長）

###### ③ 感染症対策委員会（佐藤勇委員長）

###### ④ 広報委員会（藤本保委員長）

###### ⑤ 調査研究インシデント委員会（荒井宏治委員長）

###### ⑥ 機関誌委員会（羽根靖之委員長）

###### ⑦ あり方委員会（稻見誠委員長）

###### ⑧ 保育園 PT（本田直子委員長）

###### ⑨ 倫理委員会（木野稔委員長）

議案書に基づき、各担当理事が平成28年度事業報告の内容について報告を行った。

### 3、 ブロック・支部活動報告

議案書に基づき、佐藤里美会計担当理事より、ブロック・支部会活動について報告を行った。

平成28年度事業報告について、満場一致で承認された。

## 第2号議案 平成28年度決算報告の承認を求める件及び監査報告

議案書に基づき、佐藤里美会計担当理事より報告された。

来年度から比較損益計算書の表記を正味財産増減計算書と表記することが報告された。

比較損益計算書、事業費内訳、比較貸借対照表、財産目録について説明を行った。次いで、青木佳之監事が監査報告を行った。

議長が議場に諮った結果、本議案は満場一致で可決された。

## 第3号議案 平成29年度事業計画及び予算案の承認を求める件

### 1、 各委員会・PT事業計画

- ① 研修委員会（帆足暁子委員長）担当副会長：佐藤里美
- ② 資格認定委員会（永野和子委員長）担当副会長：佐藤里美
- ③ 感染症対策委員会（佐藤勇委員長）担当会長：大川洋二
- ④ 広報委員会（藤本保委員長）担当副会長：杉野茂人
- ⑤ 調査研究インシデント委員会（荒井宏治委員長）  
担当副会長：杉野茂人

- ⑥ 機関誌委員会（羽根靖之委員長）担当副会長：佐藤里美
- ⑦ あり方委員会（稻見誠委員長）担当会長：大川洋二
- ⑧ 保育園PT（本田直子委員長）担当副会長：高橋広美
- ⑨ 倫理委員会（木野稔委員長）担当副会長：高橋広美

議案書に基づき、各担当会長及び、副会長が平成29年度事業計画の内容について報告を行った。

### 2、 平成29年度予算書

佐藤里美会計担当理事が、平成29年度予算案の説明を行った。

議長が議場に諮った結果、本議案は満場一致で可決された。

## 第4号議案 その他

- ・現在、福井県支部長、及び代議員である土田晋也より、施設長交代のため同施設の中村宗玄に交代の申し出があった。

議長が議場に諮った結果、満場一致で代議員の交代について承認された。なお任期は2020年の代議員総会までとする。

- ・青木代議員より、各委員会の活動が活発であり、より質の高い事業計画を出すよう意見があった。
- ・藤枝代議員より、病児保育専門士の資格取得者が会員施設を退職し資格の期限が切れてしまっている人は再度受講しなければならないのか等の意見がなされた。会長より趣意書等にまとめて提出してもらい、その後委員会にて検討する旨が伝えられた。
- ・来年度第28回研究大会香川大会 会頭西岡敦子より来年度の報告がされた。また次々期第29回研究大会盛岡大会の会頭山口淑子より、再来年度の報告がされた。

## V. 事務局より報告

### ① 会員数と会費納入状況（平成29年5月末日現在）

#### 1. 会員数

施設会員 : 617 施設 (内新入会57件)  
個人会員 : 86名 (内新入会16名)  
退会施設 : 7施設 (閉院2施設、不明5施設)  
退会個人 : 3名 (不明3名)

#### 2. 会費納入状況

施設会費納入 : 596施設 (納入率96%)  
施設会費未納 : 21施設 (内1年未納:16件、2年未納:3件、3年未納:2件)  
個人会費納入 : 66名 (納入率76%)  
個人会費未納 : 20名 (内1年未納:11名、2年未納:8名、3年未納:1名)

### ② 物品販売

	販売数	売上
病児保育マニュアル Vol,1	178冊	768,960円
(内訳) Amazon	107冊	
事務局	67冊	
新潟大会	4冊	
病児保育マニュアル Vol,2	239冊	997,920円
(内訳) Amazon	126冊	
事務局	108冊	
新潟大会	5冊	

機関誌「病児保育研究」	60 冊	79,920 円
(内訳) 会員	25 冊	
非会員	35 冊	
感染症ガイドライン	22 冊	23,760 円
(内訳) 事務局	6 冊	
新潟大会	16 冊	
基礎研修テキスト	21 冊	22,680 円
(内訳) 事務局	6 冊	
新潟大会	15 冊	
事故防止ガイドライン	10 冊	10,800 円
(内訳) 事務局	4 冊	
新潟大会	6 冊	
10 年のあゆみ	3 冊	5,190 円

議案書に基づき、佐藤里美会計担当理事より会員数、会費納入状況、物品販売について説明を行った。

#### VI. 閉会挨拶

以上をもって、本日の議事を終了したので、議長は閉会を宣言した。上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第 21 条のとおり会長及び議事録署名人が次に記名押印する。

平成 29 年 7 月 16 日

議事録署名人： 会長

大川 伸二



議事録署名人：

荒井 宏治



議事録署名人：

甲斐 足曉



## 正味財産増減計算書（収支決算書）

平成28年 6月 1日から平成29年 5月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	執行率
経 常 収 益	35,204,000	42,579,192	7,375,192	120.9%
[ 事 業 収 益 ]	[35,100,000]	[41,829,047]	[ 6,729,047]	119.2%
( 会 費 収 入 )	(15,500,000)	(15,201,000)	( -299,000)	98.1%
入 会 金	500,000	496,000	-4,000	99.2%
年 会 費	14,500,000	14,095,000	-405,000	97.2%
賛 助 会 費	500,000	610,000	110,000	122.0%
( 書 籍 販 売 )	2,500,000	2,572,564	72,564	102.9%
( 広 告 収 入 )	500,000	390,000	-110,000	78.0%
( 資 格 認 定 収 入 )	1,600,000	1,660,000	60,000	103.8%
( 全 国 研 究 大 会 )	15,000,000	22,005,483	7,005,483	146.7%
[ 財 务 収 益 ]	( 104,000)	( 750,145)	( -646,145)	721.3%
受 取 利 息	4,000	146	-3,854	3.7%
雜 収 入	100,000	749,999	649,999	750.0%
経 常 費 用	28,740,000	37,919,695	9,179,695	131.4%
[ 事 業 費 用 ]	[28,740,000]	[37,919,695]	[ 9,012,995]	131.4%
( 全 国 研 究 大 会 )	(15,000,000)	(21,546,787)	( 6,546,787)	143.6%
( 研 修 委 員 会 )	( 450,000)	( 326,208)	( -123,792)	72.5%
( 広 報 委 員 会 )	( 450,000)	( 809,395)	( 359,395)	179.9%
( 機 関 誌 委 員 会 )	( 100,000)	( 0)	( -100,000)	0.0%
( 調 研 ・ インシデント委員会 )	( 500,000)	( 236,751)	( 263,249)	47.4%
( インシデント管理システム運用支援)	( 800,000)	( 723,600)	( -76,400)	90.5%
( 感 染 症 委 員 会 )	( 250,000)	( 111,729)	( -138,271)	44.7%
( 資 格 認 定 委 員 会 )	( 2,800,000)	( 3,038,276)	( 238,276)	108.5%
( 倫 理 委 員 会 )	( 100,000)	( 0)	( -100,000)	0.0%
( 保 育 園 P T )	( 100,000)	( 100,000)	( 0)	100.0%
( 管 理 費 用 )	( 8,190,000)	(11,026,949)	( 1,670,249)	118.2%
印 刷 費	1,500,000	2,531,412	1,031,412	168.8%
旅 費 交 通 費	1,000,000	711,738	-288,262	71.2%
通 信 費	500,000	629,194	129,194	125.8%
消 耗 品 費	0	3,987	3,987	-
租 税 公 課	20,000	336,878	316,878	1684.4%
事 務 用 品 費	250,000	544,195	294,195	217.7%
広 告 宣 伝 費	20,000	0	-20,000	0.0%
支 払 手 数 料	1,000,000	2,520,482	1,520,482	252.0%
事 務 局 外 部 委 託 費	2,800,000	2,381,400	-418,600	85.1%
会 議 費	100,000	67,813	-32,187	67.8%
支 部 研 修 会 补 助 金	1,000,000	1,299,850	299,850	130.0%
経常利益金額	6,464,000	4,659,497	-1,804,503	72.1%
[ 経 常 外 収 益 ]	4,000,000	3,897,944	-102,056	97.4%
期 末 商 品 棚 卸 戻 入 益	4,000,000	3,897,944	-102,056	97.4%
[ 経 常 外 費 用 ]	5,087,805	5,056,760	-31,045	99.4%
期 首 商 品 棚 卸 繰 入 損	5,087,805	5,056,760	-31,045	99.4%
[ 経 常 外 損 益 ]	-1,087,805	-1,158,816	-71,011	106.5%
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額	5,376,195	3,500,681	-1,875,514	65.1%
法 人 税 等	1,500,000	628,100	-871,900	41.9%
当 期 純 利 益 金 額	3,876,195	2,872,581	-1,003,614	74.1%
前 期 繰 越 額	5,256,446	10,936,483	5,680,037	208.1%
次 期 繰 越 額	9,132,641	13,809,064	4,676,423	151.2%

※昨年度までは「比較損益計算書」と記載されております。今年度より「正味財産増減計算書(収支決算書)」へ変更になりました。

## 監査報告書

平成29年7月6日

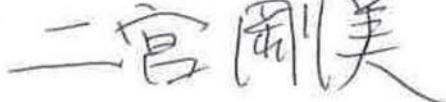
一般社団法人全国病児保育協議会

監事



一般社団法人全国病児保育協議会

監事



一般社団法人全国病児保育協議会  
会長 大川 洋二 様

私たち監事は、当法人の定款第25条により 平成28年6月1日より平成29年5月31日までの事業年度の理事職務の執行と、業務及び財産の状況について監査を行いました。その方法と結果について以下の通り報告いたします。

### 1 監査の方法および内容

重要な会議である理事会・常任理事会に出席し、通信文を閲覧し、事務局委託業務・会計委託業務に関して理事及び関係者に説明を求めました。

また決裁書類等を閲覧し、事務局受託者である日本小児医事出版社において業務及び財産の状況について調査しました。会計業務を委託している日本小児医事出版社より計算関係書類等【貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）】及びこれらの付属明細書並びに財産目録について過誤のない報告を受けました。

なお、決算報告書については、望月会計事務所において総勘定元帳と確認済みです。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告書等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

#### (2) 計算関係書類等の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（総身財産増減）の状況を、適正に表示しているものと認めます。

以上

**編集後記**

大阪大会の報告がいち段落。かがわ大会の足音が本格的になってきました。各県支部の研修会も盛んに行われています。支部研修会には事前に申請することで協議会から補助が出ます。集い、学び、情報共有を。そして終了後にはぜひ、協議会ニュースで各支部の活動を紹介させてください。  
(広報委員長 藤本 保)

**協議会ニュースに関するお問い合わせ先**

一般社団法人 全国病児保育協議会 広報委員会

担当: 藤 本 保

〒870-0943 大分市大字片島83-7  
大分こども病院  
FAX.097-568-2970  
E-mail:byouji@oita-kodomo.jp